

試合番号 : 309	試合会場 : 東山総合体育館	観客数 : 600
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:37	試合時間 : 01:37
主審 : 明井 寿枝	副審 : 高橋 宏明	
埼玉上尾メディックス 通算 2勝 2敗 ポイント: 5		JTマーヴェラス 通算 4勝 0敗 ポイント: 12
監督コメント 今日の試合では、戦術面よりも勝ちたい気持ちが前面に出してプレーしようという心がけをして、全選手が気持ちよく出場しても良いプレーをするように話して、今日の試合に臨みました。結果はストレート負けでしたが、色々な選手を起用してそれぞれの課題が見つかりました。このような状況の中、2日間の放戦を成長させるべく練習に励みます。このような情勢の中、ホームゲームを開催していただき、誠にありがとうございました。現地で応援してくださったファンの皆様、今度こそ勝利をお届けしますので、引き続き、応援よろしくお願ひします。ありがとうございました。	監督コメント 昨日の反省と今日やるべきことを再確認し、連勝できるように準備しました。簡単にはボールが落ちない相手ですので、そのディフェンスを打ち抜く攻撃と、苦しい時の控え選手連の活躍もあり、勝利することができました。まだ成長できるものがたくさんありますので、次に向けて準備していきます。本日もたくさんの応援、ありがとうございました。来週はホームゲームですので、引き続き皆さんの応援をお願いします。	
要約レポート 第1セット、序盤からJTマーヴェラスはドルーズと芥川の高いブロックで埼玉上尾メディックスの攻撃を抑え込む。対する埼玉上尾は終盤、リベロ山岸の好レシーブ、佐藤のスパイクで同点に追いつくが、最後はドルーズが決めてJTが先取る。 第2セット、JTは林のサーブからリズムに乗ると一気に埼玉上尾を突き放す。埼玉上尾は内瀬戸の強いスパイク、鈴木速の攻撃で応戦したが、25-18でJTが連取る。 第3セット序盤にリードを奪われた埼玉上尾は、山口のスパイクを起点に4連続得点で同点に追いつき意地を見せる。しかし、JTはリベロ小幡の粘り強いレシーブと田中の力強いスパイクで中盤からリードを広げると埼玉上尾を寄せ付けず、25-20で開幕4連勝を飾った。		

試合番号 : 310	試合会場 : 日立市池の川さくらアリーナ	観客数 : 420
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:24	試合時間 : 02:24
主審 : 増岡 三佳子	副審 : 新田 浩幸	
日立Astemoリヴァール 通算 2勝 2敗 ポイント: 5		ヴィクトリーナ姫路 通算 1勝 3敗 ポイント: 3
監督コメント 今日会場に足を運んで応援してくださった方々、画面越しにご声援を送ってくださった方々、ありがとうございました。昨日同様、フルセットの大接戦となりましたが、今日は勝ち切ることができました。まだ自分たちの中での甘い部分や取れる1点があったと思うので、課題として取り組みます。来週の秋田県でのホームゲームで、成長した姿を見ていただけるように頑張ります。来週もまた応援よろしくお願ひします。	監督コメント 勝てるゲームを落としたという印象です。特に第4セット、第5セットは中盤まで良いゲーム運びができていたのですが、終盤にかけて点を取り急ぐあまり、連続失点を繰り返してしまっただけが悔やまれます。この日立大会でチームとしては一歩前進できたと思うので、来週からのホームゲームで姫路の皆様の前で勝利を挙げたいと思います。2日間の温かいご声援ありがとうございました。	
要約レポート 第1セット、ヴィクトリーナ姫路は田中のスパイク、ブロックで得点を重ねる。対する日立Astemoリヴァールはオウム大庭のスパイクで得点を重ねていく。中盤、日立Astemoが上坂の連続得点で流れを掴みセットを取った。 第2セットも序盤からシーソーゲームが続く。姫路は渡邊のスパイクなどでじりじりと差を広げる。日立Astemoは渡邊を投入し、直後にスパイクを決めて追い上げムードになるが、姫路が逃げ切りセットを奪った。 第3セット、序盤に日立Astemoがタップのブロックやサービスエースでリードするが、姫路は田中、ブラクのスパイクですぐに追いつく。中盤以降、姫路はセッターの櫻井が絞らないトス回しで、攻撃を効果的に決める。日立Astemoはリリーフサーブや野中のサーブからオウム大庭にトスを集めて追いついたが、姫路がセットを連取った。 第4セット、後のない日立Astemoは勢いに乗る姫路を止められず、リードを奪われ苦しい展開となる。日立Astemoは雑賀、室岡を入れて流れを変えようとする。日立Astemoはタップのブロックでデュースに持ち込み、室岡のサービスエースでセットを奪い返した。 最終セット、姫路はブラクにトスを集めてリードする。日立Astemoはオウム大庭、室岡、長内のスパイクで食いつく。壮絶なスパイクの打ち合いでこのセットもデュースまでもつれ込んだが、日立Astemoが振り切って勝利を収めた。		

試合番号 : 311	試合会場 : 黒部市総合体育センター	観客数 : 1,100
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:30	試合時間 : 01:30
主審 : 内藤 聡美	副審 : 北村 友香	
KUROBEアクアフェアリーズ 通算 0勝 4敗 ポイント: 0		岡山シーガルズ 通算 2勝 2敗 ポイント: 7
監督コメント ホーム開幕二戦目、何としても初勝利を挙げるべく、モチベーションを高めて臨んだゲームでした。1セット目から、リズムをつくりシーソーゲームとなりましたが、中盤から岡山シーガルズのうまみのあるプッシュ攻撃、フェイントなどに足が止まり、2セット連取れませんでした。3セット目は、ポジション変更、ミドル細沼投入などを試みましたが、最後はやはり巧打に対応できずストレートでの敗戦となりました。この二戦の反省をもとに、来週のJTマーヴェラス戦の準備をしたいと思ひます。今後とも、ご声援よろしくお願ひ致します。	監督コメント 昨日の初勝利が力の差以上の勝利となったことで、力の出しにくい状態となるゲームでしたが、吉岡選手が前日の3セット目に窮地を招いた反省を十分に生かした活躍で、チームを連勝に導いてくれました。お世話になった黒部の地で、連勝できたことは、チームを勇気づけ、今後の大きな励みとなります。来週のホームゲームにステップアップしていきたいです。二日間にわたり遠方より足を運んでくださった皆様、また離れていても応援してくださった皆様に心より感謝いたします。	
要約レポート 昨日、ホーム開幕戦で勝利できなかったKUROBEアクアフェアリーズ。本日も会場には、地元「オラがチーム」を応援すべく、大勢のファンが駆け付けました。第1セット、岡山シーガルズが多様な攻撃をし、KUROBEが粘り強く繋ぐというラリーが繰り返され、終盤まで一進一退の展開となる。KUROBEは17-18から2連続ミスにより3点差とリードを広げられる。岡山はこのリードを保ち、最後は吉岡が強烈なスパイクを決めてセットを取った。 第2セット、立ち上がり岡山が吉岡、佐藤のスパイクで8-2と一気に主導権を握る。KUROBEは小杉、途中出場の高柳のスパイクで応戦するも点差は詰まらず、逆に連続失点を重ね、岡山が大差でセットを連取った。 第3セット、このセットも序盤から岡山が長瀬、吉岡のスパイクなどで13-8とリードし流れを掴んだかと思えた。そこからKUROBEが小杉のスパイク、細沼のブロックなどで4連続得点し1点差に迫ると終盤まで接戦となる。岡山が20-18から途中出場の高柳のブロック、遠藤のスパイクで3連続得点しKUROBEを突き放し連勝した。		

試合番号 : 312	試合会場 : 黒部市総合体育センター	観客数 : 1,170
開始時間 : 14:30	終了時間 : 16:33	試合時間 : 02:03
主審 : 森口 豊	副審 : 岡田 崇	
東レアローズ 通算 3勝 1敗 ポイント: 10		NECレッドロケッツ 通算 3勝 1敗 ポイント: 8
監督コメント 今日の試合は、昨日の課題を確認して臨みましたが、なかなかリズムを掴みきれず苦しい試合運びとなりました。攻撃面でもなんとか我慢して得点を重ねることができたので、セットを取ることができましたが、まだまだ修正の多い内容だったと思います。また次週に向けてしっかりと準備を進めたいと思ひます。本日もたくさんの応援をいただきありがとうございました。	監督コメント 本日もたくさんの応援ありがとうございました。悔しい敗戦となりましたが、今日の負けを無駄にせず更なる成長への糧となるようにして長いリーグを戦ってまいります。第1、2セットは、20点まで良いゲームができていたのですが、最後の5点をどう戦っていくのかという部分で、東レアローズが一枚上手だったと感じています。第3セットを取り、良いリズムで第4セットを迎えることができたのですが、オフェンスの部分でミスが多く取りたいところでも点が取れなかったため相手も勢いづかせてしまいました。2日間通して学ぶことの多い試合でした。より良いチームとなって戦えるよう準備していきますので、来週も熱い応援よろしくお願ひします。	
要約レポート 前日、フルセットの熱戦でNECレッドロケッツが逆転勝利を挙げ、この勢いで連勝するか、あるいは東レアローズがリベンジを果たすかが見どころのこの一戦。 第1セット、終盤まで一進一退の展開となる。東レが20-21から克蘭、石川が連続でスパイクを決め逆転し、その後、石川のスパイク、小川のサービスエースなどで3連続得点し先取った。 第2セット、立ち上がりNECが東レの連続ミスもあり4連続得点し、主導権を握って中盤まで進む。東レが15-18から相手の連続ミスや櫻村のサービスエースで3連続得点し、ようやく追いつき終盤へ。東レが22-23から石川のスパイクなどで3連続得点でセットを連取った。 第3セット、このセットも立ち上がりからNECが吉谷、山内のスパイクなどで9-2と走る。東レは克蘭、石川を中心に応戦するも追いつかず、NECが奪い返した。 第4セット、序盤から東レが克蘭、小川、石川のスパイクなどで連続得点を重ね20-14とリードする。NECはここから廣瀬の連続ブロックとスパイク、山田のブロックなどで詰め寄るが、最後は東レの克蘭が3本のスパイクを決めて勝利し、前日のリベンジを果たした。		

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。

試合番号 : 313		試合会場 : 一本松総合運動公園体育館サン・アリーナ				観客数 : 369	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:44		試合時間 : 01:44		主審 : 吉岡 奈々	
副審 : 原 啓之		PFUブルーキャッツ		トヨタ車体クインシーズ		通算	
通算		2勝 2敗 ポイント: 6		17 第1セット 25		0勝 4敗 ポイント: 0	
監督コメント	第1セットは相手の良いサーブに崩され直接失点が多く完全に主導権を握られたゲームとなりました。		3	25 第2セット 18		1	監督コメント
	第2セット以降は何か相手の良いサーブを凌ぎながら自分たちで点数を取りきることが出来たのが勝因だったと思います。			25 第3セット 16			
	ホームゲームで連勝できたことは、チームにとってとても大きいと思います。			25 第4セット 18			
	本日もしっかりと皆さんの応援ありがとうございました。来週のホームゲームも応援よろしくお願いします。			第5セット			
要約レポート							
昨日、ホーム開幕戦で今シーズン初勝利し、勢いに乗りたいPFUブルーキャッツと開幕からの連敗を止めたトヨタ車体クインシーズとの戦いは、PFUの攻撃力が光る展開となった。第1セット、序盤からお互いに譲らず、1点を争う展開となった。中盤、トヨタ車体が抜け出し、PFUは鍋谷のスパイクで食い下がるが、最後はトヨタ車体が逃げ切った。第2セット序盤、PFUが綱引、鍋谷の連続得点でリードし、ジャン、志摩のブロックでリードを広げ、そのまま第2セットを奪い返した。第3セット、トヨタ車体はケルシー、PFUはバルデスの両エースの強烈なスパイクの打ち合いでスタートした。トヨタ車体は数田、ケルシーのスパイクで得点するも、志摩の3連続得点でPFUが振り切った。第4セット、PFUバルデスの勢いが止まらない。トヨタ車体のブロック、レシーブをものともせず得点を重ね、チームに勝利をもたらした。							

試合番号 : 314		試合会場 : グリーンアリーナ神戸 (神戸総合運動公園体育館)				観客数 : 750	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:56		試合時間 : 01:56		主審 : 林 淳一	
副審 : 西山 尚幸		久光スプリングス		デンソーエアリービーズ		通算	
通算		3勝 1敗 ポイント: 10		25 第1セット 10		2勝 2敗 ポイント: 6	
監督コメント	簡単にには勝たせてくれない相手に対して、昨日の修正点を改善し、自分たちのやるべきことを徹底してくれた。		3	25 第2セット 21		1	監督コメント
	我々の強みでもあるトータルディフェンスが機能し、多くのブレイクをものにし、得点を積み重ねることができた。			26 第3セット 28			
	今日の戦もバックアップメンバーがしっかりと役割を果たしてくれた。最後、私たちが笑って終われるよう成長しなければならない。歩み止めず支え合いながら成長していきたい。			25 第4セット 22			
	本日もしっかりと皆さんの応援ありがとうございました。			第5セット			
要約レポート							
ホームでの連勝を目指す久光スプリングスと昨日の雪辱を果たしたいデンソーエアリービーズの対戦。第1セット、久光は序盤から井上(愛)の活躍で確実に得点を重ねていく。デンソーも中元、工藤にボールを集め反撃するが、久光は通算230試合出場のリベンジゲームとなる栄がサービスエースを含む6連続得点で17-6と一気にデンソーを突き放すとその勢いのままセットを先取した。第2セット、デンソーは兵頭鋭いアタックや横田のブロックでゲームを展開。対する久光も大竹の連攻や中川のブロックが冴え、好ゲームとなる。アキンラデウォのブロックをきっかけに久光が抜け出し連取した。第3セット、デンソーは東谷がライン際にアタックを決めて流れを掴むと、久光も石井がサービスで崩し中川が決めるなど猛進する。久光は野本のサーブから連続得点でデュースとしたが、デンソーが横田のブロックで振り切った。第4セット、久光は野本やアキンラデウォの硬軟交えた攻撃で、デンソーは森谷のブロックや兵頭のアタックで互いに得点を重ねる。一進一退から久光は野本のポイントで抜け出すと、最後はアキンラデウォが決めてホームで連勝した。							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗 ポイント: -		通算	
-		-		-		-	
監督コメント				第1セット			監督コメント
				第2セット			
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗 ポイント: -		通算	
-		-		-		-	
監督コメント				第1セット			監督コメント
				第2セット			
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							